

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	上戸田地域交流センター・戸田市立図書館上戸田分館	代表者名	石原宏章
担当者部署	戸田市立図書館上戸田分館	連絡先電話番号	048-442-1211
担当者役職		担当者氏名	
住所	335-0022 埼玉県戸田市上戸田2-21-1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	ディスカッション形式での講義だったので、より議論を深めることができた。計画の立案に際して、特に基本方針に関わる部分において、有益なアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月9日	10時00分	17時30分	60	390
3-2. 派遣場所	会場名	上戸田地域交流センター		最寄駅	戸田公園駅
	所在地	埼玉県戸田市上戸田2-21-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市民が地域課題の解決に向けて自発的な活動を起こすきっかけとして、また活動の際の拠点として、あいパルが機能するために、必要な方法・有効な手段を考えたい。様々な講座を開催しているが、それらをどうやって市民の活動につなげていくか、また、あいパルの運営も含めて市民と一緒に考えてもらうために必要な仕組みは何か、といったことを考えていく必要がある。既に、地域で活動している人を見つけ、連携して講座開催などを行なっているが、そういった取り組みを今後より拡大していくにあたり、有効な手法などを知りたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市民活動の拠点となり、運営も含めて市民と協働するための手法を洗い出し、5ヵ年計画として落とし込む。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	基本方針や事業計画案について、前回のアドバイスを元に作成したのを見て頂き、修正した方がよいポイントや新たな事業案などをご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	基本方針をより明確に具体化し、参加者同士で共有することができた。また、基本方針に基づく事業計画案について、特に図書館事業について、より効果的と考えられる方策をアドバイスしていただき、計画を修正することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今後は計画書に基づき、事業を実施していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 少人数によるワークショップ形式での開催だったため、アンケートは行なわなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

